

第13回安全性検討会資料 (平成29年11月1日開催)

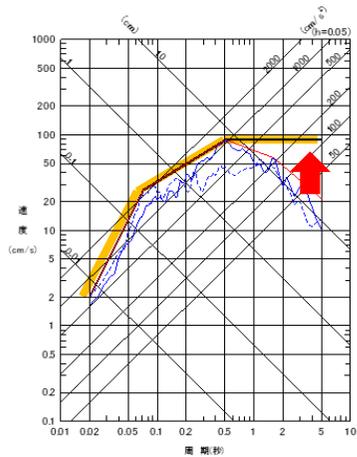
6. 基準地震動の策定

(1) プレート間地震

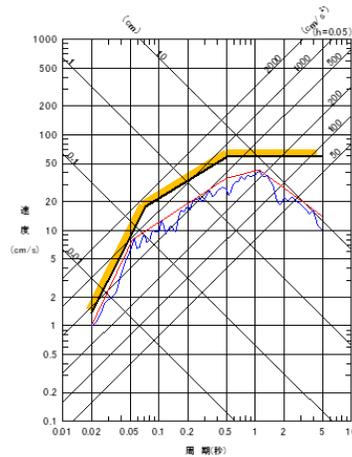
- ▶ プレート間地震の応答スペクトル手法による地震動評価結果を包絡する設計用応答スペクトルを基準地震動Ss-D1※として設定。特に、長周期側の裕度を考慮した形状としている。なお、鉛直方向の設計用応答スペクトルは、水平方向の2/3倍としている。
- ▶ また、基準地震動Ss-D1の応答スペクトルを上回ったケースのうち、「応力降下量(短周期レベル)の不確かさケース」及び「SMGA位置と応力降下量(短周期レベル)の不確かさの重畳ケース」を、それぞれ基準地震動Ss-F1、基準地震動Ss-F2として採用。

— 基準地震動Ss-D1(プレート間地震 応答スペクトル手法)
— プレート間地震 応答スペクトル手法
— 【参考】3.11地震の観測記録(NS成分, UD成分)
- - - - 【参考】3.11地震の観測記録(EW成分)

— 基準地震動Ss-D1
 (プレート間地震 応答スペクトル手法)
— 基準地震動Ss-F1
 (プレート間地震 不確かさケース1 断層モデル手法(応力降下量の不確かさ))
— 基準地震動Ss-F2
 (プレート間地震 不確かさケース2 断層モデル手法(SMGA位置と応力降下量の不確かさ重畳))
- - - - 【参考】プレート間地震 断層モデル手法(基本ケース)

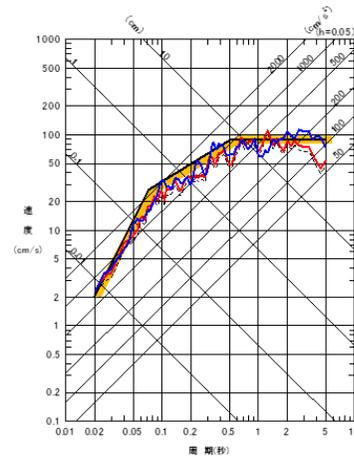


水平方向

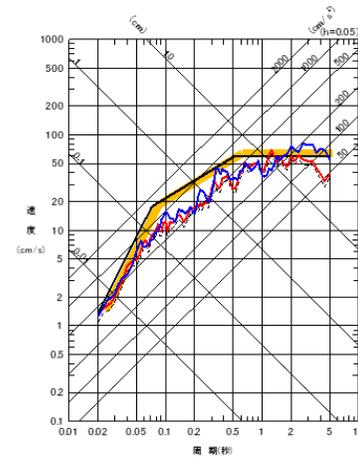


鉛直方向

応答スペクトル手法による地震動評価結果



水平方向



鉛直方向

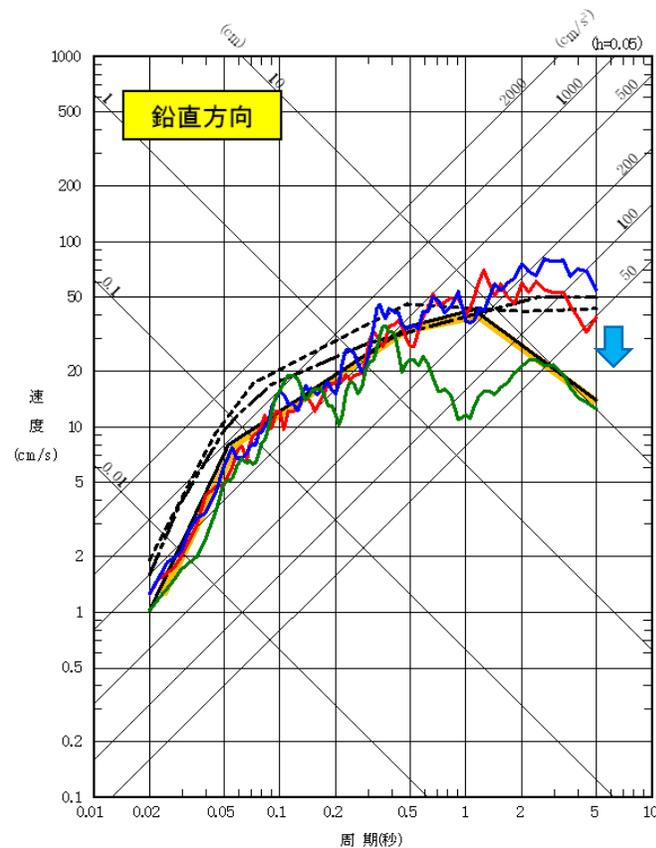
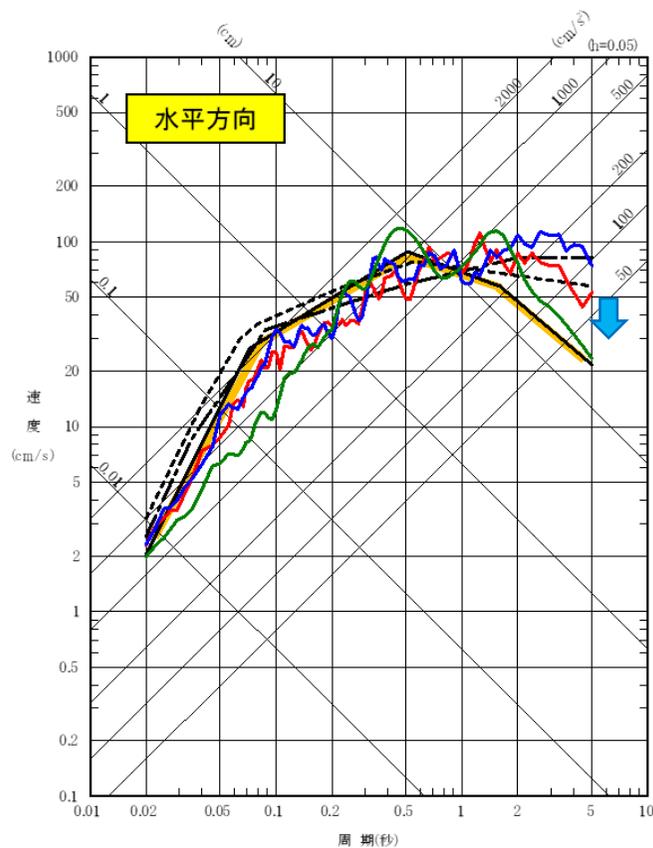
断層モデル手法による地震動評価結果

※ 基準地震動Ss-DのD: Design(デザイン)の略, 基準地震動Ss-FのF: Fault model(断層モデル)の略。

2. 基準地震動の策定

2.3 基準地震動の策定のまとめ(応答スペクトル)

- 基準地震動Ss-D1 [プレート間地震の応答スペクトル手法による地震動評価]
- - - 基準地震動Ss-D2 [海洋プレート内地震(SMGAマントル内)の応答スペクトル手法による地震動評価]
- · - 基準地震動Ss-D3 [海洋プレート内地震(SMGA地殻内)の応答スペクトル手法による地震動評価]
- 基準地震動Ss-F1 [プレート間地震の断層モデル手法による地震動評価(応力降下量(短周期レベル)の不確かさ)]
- 基準地震動Ss-F2 [プレート間地震の断層モデル手法による地震動評価(SMGA位置と応力降下量(短周期レベル)の不確かさの重畳)]
- 基準地震動Ss-N1 [2004年北海道留萌支庁南部地震(K-NET港町)の検討結果に保守性を考慮した地震動評価]



2. 基準地震動の策定

2.3 基準地震動の策定のまとめ(応答スペクトル)

- 基準地震動Ss-D1 [プレート間地震の応答スペクトル手法による基準地震動]
- - - 基準地震動Ss-D2 [海洋プレート内地震(SMGAマントル内)の応答スペクトル手法による基準地震動]
- · - 基準地震動Ss-D3 [海洋プレート内地震(SMGA地殻内)の応答スペクトル手法による基準地震動]
- 基準地震動Ss-F1 [プレート間地震の断層モデル手法による基準地震動(応力降下量(短周期レベル)の不確かさ)]
- 基準地震動Ss-F2 [プレート間地震の断層モデル手法による基準地震動(SMGA位置と応力降下量(短周期レベル)の不確かさの重畳)]
- 基準地震動Ss-F3 [海洋プレート内地震(SMGAマントル内)の断層モデル手法による基準地震動(SMGAマントル内集約)]
- 基準地震動Ss-N1 [2004年北海道留萌支庁南部地震(K-NET港町)の検討結果に保守性を考慮した地震動]

